



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 名糖産業株式会社
コード番号 2207 URL <http://www.meito-sangvo.co.jp>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 彰宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 山崎 潔

TEL 052-521-7111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,133	△10.7	△171	—	79	△65.6	△77	—
24年3月期第1四半期	4,626	△4.1	△40	—	230	△40.0	△37	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △656百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △221百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△4.61	—
24年3月期第1四半期	△2.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	41,031	30,197	73.2
24年3月期	43,627	31,172	71.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 30,019百万円 24年3月期 31,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	20.00	20.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期期末配当金の内訳 特別配当 2円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,300	1.1	250	98.0	500	△20.0	350	△7.3	20.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	21,265,000 株	24年3月期	21,265,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	4,454,760 株	24年3月期	4,454,689 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	16,810,276 株	24年3月期1Q	16,811,275 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災からの復興需要など内需が牽引し、さらに米国景気の復調による輸出の持ち直しなどにより、緩やかに回復を続けました。しかし、一方では、欧州債務危機の影響や中国経済の減速、加えて円高圧力や電力不足懸念など景気の先行きへの不安材料も依然として残りました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、安全・安心で高品質な商品の提供への取り組みが強く求められる一方、高い水準で推移する原材料価格の影響を受けるなかで企業間の低価格競争がますます加速するなど、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上のため品質管理体制の強化に引き続き注力するとともに、お客様から支持される高付加価値商品の提供ならびに積極的な販売促進活動を推し進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、震災後に一時的な消費の高まりが生じた前年同期と比べて10.7%減の4,133百万円となりました。営業利益につきましては、事業活動の効率化やコストの削減を図りましたが、売上高の減少、重い原材料コストならびに平成22年に稼働しました3工場の減価償却費の負担などにより、171百万円の営業損失となりました。前年同期は40百万円の営業損失でありました。また、経常利益は前年同期に比べ65.6%減の79百万円となり、四半期純利益につきましては、特別利益に投資有価証券売却益10百万円、特別損失に投資有価証券評価損185百万円を計上しました結果、77百万円の純損失となりました。前年同期は37百万円の純損失でありました。

事業分野別の動向は、次のとおりであります。

食品事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、主力の菓子部門は消費者の節約志向により一段と低価格競争が加速して減収となりました。チョコレート類は、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」や「ナッツチョコレートコレクション」などのファミリータイプの商品の売上が減少しました。キャンディ類は、受託商品の売上が落ち込みました。

粉末飲料部門は、分包タイプの「しょうが紅茶」は好調に推移しましたが、主力の「レモンティー」や「ロイヤルミルクティー」などが販売競争激化の影響を受けて減収となりました。

また、主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、新商品を投入して営業施策を積極的に展開しましたところ、前年同期並みの売上を確保しました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースベーカーは、積極的な商品提案や販売促進活動を推進しました結果、主力のパウムクーヘン類の売上が大きく伸びて増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ10.8%減の3,593百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の減少、原材料コストならびに減価償却費の負担などにより、38百万円の営業損失となりました。前年同期は89百万円の営業利益でありました。

化成品事業

酵素部門につきましては海外を主な市場としており、企業間競争が激化するなか、円高や原子力発電所の事故に伴う海外での風評被害の影響を引き続き受けました。その厳しい環境下、精力的な販売促進活動を推進しましたが、チーズ用凝乳酵素「レンネット」および脂肪分解酵素「リパーゼ」はともに苦戦を強いられ減収となりました。

また、薬品部門につきましては、MR I（磁気共鳴画像）診断用肝臓造影剤『リゾビスト』の原薬「フェルカルボトラン」を始めとするデキストランマグネタイトや医薬品、X線フィルムなどの原料の「デキストラン」の売上が伸びて増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ9.0%減の459百万円となり、営業利益につきましては、売上高の減少、円高の影響ならびに減価償却費の負担などにより、1百万円の営業損失となりました。前年同期は2百万円の営業利益でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、本年2月に倉庫の賃貸契約が終了したことなどにより、売上高は前年同期に比べ14.7%減の80百万円となり、営業利益は前年同期に比べ24.7%減の35百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,319百万円減少し、8,233百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1,125百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,275百万円減少し、32,797百万円となりました。これは、保有する株式の株価の下落などにより投資有価証券が1,059百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2,595百万円減少し、41,031百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,149百万円減少し、4,425百万円となりました。これは、その他に含まれる短期借入金が670百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ471百万円減少し、6,408百万円となりました。これは、繰延税金負債が247百万円減少したことや、長期借入金が228百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,620百万円減少し、10,833百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ974百万円減少し、30,197百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が578百万円減少したことや、利益剰余金が413百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間は、概ね当初の想定した範囲内で推移しております。

現時点では通期の連結業績予想につきまして、平成24年5月15日に公表いたしました数値を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,384	1,789
受取手形及び売掛金	4,591	3,465
有価証券	398	498
商品及び製品	885	1,027
仕掛品	297	323
原材料及び貯蔵品	747	879
その他	251	259
貸倒引当金	△4	△9
流動資産合計	9,553	8,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,455	5,364
機械装置及び運搬具(純額)	4,324	4,162
その他(純額)	3,263	3,291
有形固定資産合計	13,044	12,818
無形固定資産	86	85
投資その他の資産		
投資有価証券	20,206	19,146
その他	804	815
貸倒引当金	△68	△68
投資その他の資産合計	20,942	19,894
固定資産合計	34,073	32,797
資産合計	43,627	41,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,026	1,938
1年内返済予定の長期借入金	870	892
未払法人税等	116	7
返品調整引当金	8	5
その他	2,553	1,581
流動負債合計	5,575	4,425
固定負債		
長期借入金	2,837	2,608
繰延税金負債	1,451	1,204
退職給付引当金	2,152	2,173
役員退職慰労引当金	17	14
その他	421	407
固定負債合計	6,879	6,408
負債合計	12,454	10,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,313
資本剰余金	76	76
利益剰余金	33,950	33,537
自己株式	△8,535	△8,536
株主資本合計	26,804	26,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,207	3,629
その他の包括利益累計額合計	4,207	3,629
新株予約権	160	177
純資産合計	31,172	30,197
負債純資産合計	43,627	41,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,626	4,133
売上原価	3,231	2,942
売上総利益	1,394	1,190
販売費及び一般管理費		
販売促進費	496	437
運送費及び保管費	243	231
広告宣伝費	20	17
給料手当及び賞与	376	371
退職給付費用	23	21
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
貸倒引当金繰入額	0	5
減価償却費	19	21
その他	250	254
販売費及び一般管理費合計	1,434	1,362
営業損失(△)	△40	△171
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	245	242
持分法による投資利益	31	27
その他	12	8
営業外収益合計	295	283
営業外費用		
支払利息	12	10
固定資産除売却損	5	8
支払手数料	0	0
為替差損	4	11
その他	0	0
営業外費用合計	23	32
経常利益	230	79
特別利益		
投資有価証券売却益	—	10
特別利益合計	—	10
特別損失		
投資有価証券評価損	223	185
特別損失合計	223	185
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7	△95
法人税、住民税及び事業税	2	2
法人税等調整額	43	△20
法人税等合計	45	△18
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△37	△77
四半期純損失(△)	△37	△77

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	△37	△77
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△184	△578
その他の包括利益合計	△184	△578
四半期包括利益	△221	△656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△221	△656

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,027	504	94	4,626	—	4,626
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	0	△0	—
計	4,027	504	95	4,626	△0	4,626
セグメント利益又は損失(△)	89	2	47	139	△180	△40

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,593	459	80	4,133	—	4,133
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,593	459	80	4,133	—	4,133
セグメント利益又は損失(△)	△38	△1	35	△4	△167	△171

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。